

混雑『改善』に向けて 諦めず声を挙げ続けよう！

ダイヤ改正によって朝7時台の列車が「減便」「減車」し、通学・通勤利用されるお客さまからSNSなどで日光線混雑に関する悲痛な声が多く挙がりました。この声を受け、JR 東日本で働く労働組合《JR東日本輸送サービス労働組合 大宮地方本部》は5月9日、鹿沼駅前にて『日光線混雑についてご意見を求める』ビラ配布を実施したところ**150件を超えるご意見**が寄せられました。

《ビラ配布以降に寄せられた主なご意見》

- (新聞社の取材に対して)JR東日本の「乗り切れないほど混んではない」という回答は顧客をバカにするにも程がある!
- 利用者の意見を無視した「利益重視の改正」としか思えない。
- 混雑が増加すると**痴漢行為など車内トラブルが多く発生**するのでは？
- 減便によって鹿沼駅のホームが混雑し非常に危険。いつ転落事故が発生してもおかしくない。中央にあるベンチを端に移動するべきではないか？
- 本数が減り分散乗車できない。**なぜ減便したか納得のいく回答をしてほしい。**
- 通勤・通学利用者の声を集めるなど、利用実態を把握するべきでは?
本数や車両数を調整してメリハリをつけた運用にするべき。
- 収益を重視し減便すれば、ますます利用者が離れていくのでは?
せめて**朝7時台はこれまで同様の本数で運行してほしい。**

輸送サービス労組は、地域に根差したより良い公共交通を実現するため、5月12日

JR東日本大宮支社と混雑緩和と輸送品質の改善を求める団体交渉を開催！

《団体交渉での会社の主な回答》

○4月11日に乗り切れなかったのは10名以下。原因は学校の部活が始まっていない事や始業式など普段利用しない方がいた為。どの線区も4月は多い。

○年間通して乗車率が140%などあれば考えなければいけないが、そこまででもない。息苦しいのはその人の感じ方ひとつ。

○鹿沼駅 7:36 始発の電車は、乗車率の減少と現地シミュレーションを行った上、総合的に勘案して取りやめた。鹿沼駅 8:41 始発の電車は利用状況で設定した。

○お客さまのご利用状況から総合的に判断したというのが会社回答である。

○新型車両はお客様サービスで導入した。4両から3両への変更はご利用状況に合わせて設定した。朝、鹿沼駅に社員を増員しているのは車両の減少であらかじめ混雑が予想されていた為。

○ニーズに応えた結果、ご利用状況に合わせて設定し本数・編成を決めている。

○(混雑と時間設定は)様々な制約があり、簡単に大幅に変える事が出来ない。
代わりに丁寧な対応をしていく。

○朝の増便は車両の本数が足りないため厳しい。朝の混雑については大丈夫だと認識しているし、輸送品質も低下しておらず失敗ではない。

地域や利用者の声に向き合う事なく、繰り返し述べられる

『**総合的に勘案した**』という**回答**！

『顧客軽視』『現場軽視』の経営姿勢を貫き、
労使間での解決が困難な状況の中で輸送サービス労組は
5月23日に**鹿沼市役所生活課との意見交換**を行いました！

●ダイヤ改正で会社からヒアリングはありましたか？

新車両のお知らせはあり、乗車人数が増えると話は聞いた。しかし、蓋を開けてみるとあのような状況。**普段鹿沼駅を利用している職員も、あのような混雑を経験したことがないと言っている。**

●市役所に市民や利用者からの声はありましたか？

直接苦情や要望は受けていないが、市民の声として混雑していると耳に入っている。**市役所としても何度か状況確認に行っており、市長・副市長も現地に出向いて調査**している。

JR 東日本に密や混雑緩和、利便性の向上について改善の『お願い』をしたが、JR 東日本からは**増便や増発は難しいと返答**を受けた。市として民間の一企業にこうしろと言うのは難しい。

●過去に問題が起きた際、何か改善に向けて発信する場はありましたか？

数年までは、沿線の問題は自治体が多く絡んでいるため**県が取りまとめて会社へお願い**をしていた。理由は定かではないが、現在は行っていない。

5月25日、衆議院 国土交通委員会において
福島のみゆき衆議院議員が日光線混雑の状況や現
在のJR東日本の経営姿勢に対して質疑を行いました！

関係自治体との意見交換や国土交通委員会での質問な
ど、日光線の混雑問題が様々な場で広まっています！

**混雑の『改善』には、地域・利用者の皆さまが
諦めずに声を挙げ続ける事が重要です！**

声を挙げるのを止める(諦める)とJR東日本は『このままで良い』
と改善に向けて検討する事をしません。利便性(安全・安心・快適)
が低下すれば更に利用者が減少し、輸送品質の向上はおろか地域
の活性化は望めません。改善に向けた道は険しいですが、決して諦
める事なく一緒に声を挙げ続けましょう！

『JR東日本輸送サービス労働組合』は、地域や
利用者の皆様と連帯し、諦めることなく日光線混雑『改善』に
向けた取り組みを継続して、地域に愛される公共交通輸送
を目指し、再度会社へ団体交渉を申し入れます。

是非、引き続き皆様のご意見をお寄せください！



JR東日本輸送サービス労働組合

大宮地方本部 (JTSU-E 大宮)

大宮地本ホームページ : <https://www.jtsu-e.org/omiya>

お問い合わせフォーム : <https://www.jtsu-e.org/inquiry>

Twitter : https://twitter.com/jtsu_e_omiya

大宮地本



お問い合わせ



Twitter

